

# 愛媛県立図書館利用案内

## 借りる

- ▶カウンターで「利用カード」を作しましょう。  
愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。  
本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- ▶本は、5冊まで3週間以内で借りられます。  
カウンターに借りたい本とカードを出してください。

## 返す

- ▶返す本をカウンターに出してください。（カードは要りません。）  
次の予約が入ってない場合、1回だけ延長ができます。
- ▶図書館が閉まっているときは玄関外の返却ポストに入れてください。

## 探す

- ▶図書館の検索用コンピュータで探すことができます。  
（書名や著者名で検索できます。）
- ▶パソコンやスマートフォンなどで探すこともできます。  
※分からないときはカウンターでたずねてください。

## 予約

- ▶予約申込書に必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- ▶パスワードを登録すると、パソコンやスマートフォンなどから予約することもできます。  
※利用カードをお持ちの方のパスワードの登録は、カウンター窓口、郵送、FAX、メールで申請できます。

## 愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内  
TEL : 089-941-1441(代) FAX : 089-941-1454  
<https://lib.ehimetosyokan.jp/>



### ★開館時間★

(火～金) 9:40～19:00  
(土日・祝日) 9:40～18:00  
(子ども読書室は17:00まで)  
(えひめ資料室は18:00まで)

### ★休館日★

月曜（祝日の場合は直後の平日）、館内整理日（月末）、  
年末年始、特別整理期間（3月中10日以内で館長が定める日）

←スマートフォンサイト

<https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



展示  
12月～2月

# 読んであたたまる本



## 📖 新刊案内 📖

📖 『人文学を解き放つ』	神戸大学大学院人文学研究科／編	神戸大学出版会
📖 『出世できない孔子と、悩める十人の弟子たち。』	下村 湖人／原作 森 久人／小説	Gakken
📖 『宗教対立がわかると「世界史」がわかる』	島田 裕巳／著	晶文社
📖 『ランキングマップ世界地理 統計を地図にしてみよう』	伊藤 智章／著	筑摩書房
📖 『撤退論——歴史のパラダイム転換にむけて』	内田 樹／編	晶文社
📖 『人間関係を半分降ろす 気楽なつながりの作り方』	鶴見 済／著	筑摩書房
📖 『「さびしさ」の正体』	和田 秀樹／著	小学館
📖 『アフリカから始める水の話』	石川 薫／著 中村 康明／著	勁草書房
📖 『3年間ホケツだった僕が ドイツでサッカー指導者になった話』	中野 吉之伴／著	理論社
📖 『サクラサク、サクラチル』	辻堂 ゆめ／著	双葉社



# 読んであたたまる本

2023年12月1日～2月28日

どんどん寒くなってきましたね。  
衣服や暖房器具で身体をあたためるように、本を読んで心をあたためるのはいかがでしょうか。  
小説やエッセイなど、読んで心があたたまる本を集めました。



## 『お探し物は図書室まで』 青山 美智子/著 ポプラ社 2020

お探し物は、本ですか？ 仕事ですか？ 人生ですか？  
人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた小さな図書室。彼らの背中を、不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトと可愛い付録で、後押しします。  
自分が本当に「探している物」に気が付き、明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説。



## 『死にたいけどトッポッキは食べたい』 ペク・セヒ/著 山口 ミル/訳 光文社 2020

もっと気楽に、自分を愛したいあなたへ。  
不安定な心をありのまま描き韓国で話題となったエッセイ。  
どうしたら、自分を疑わずにすむんだらう。ぼんやりとしたうつ状態が長く続く“気分変調症”の治療を通して、自分の内面に向き合い、他者とのかわり方を見つめ直した日々の記録。



## 『とわの庭』 小川 糸/著 新潮社 2020

盲目の女の子とわは、大好きな母と二人暮らし。母が言葉を、庭の植物が四季を、鳥の合唱団が朝の訪れを教えてくれた。でもある日、母がいなくなり……それから何年経っただろう。壮絶な孤独の闇を抜け、とわは自分の人生を歩き出す。おいしいご飯、沢山の木、大切な友人、ひと夏の恋、そしてあの家の庭。盲導犬ジョイと切り拓いた世界は眩い光と愛に満ちていた。涙と生きる力が溢れ出す感動長編。



## 『おべんとうの時間』 阿部 了/写真 阿部 直美/文 木楽舎 2010

NHK「サラメシ」でもお馴染みのおべんとうハンター・阿部夫妻による、全国各地の手作り弁当を二人三脚で取材したフォトエッセイ集。  
海女、釣り堀経営、素麺職人、高校生、猿まわし、営業マン、大学教授——市井の人たちが照れながら見せてくれた手作りのお弁当。食べながら語られるのは、仕事のこと、家族のこと、子どもの頃のこと……お弁当の数だけ絆の物語がありました。



## 『ハリネズミの願い』 トーン・テレヘン/著 長山 さき/訳 新潮社 2016

親愛なるどうぶつたちへ。きみたちみんなをぼくの家に招待します。……でも、誰も来なくてもだいじょうぶです。  
ある日、自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いつ。さっそく招待状を書き始めるが、手紙を送る勇気が出ない。——臆病で気難しいハリネズミに友だちにはできるのか？



他にも、新天地で傷ついた心の拠り所を探す物語『雪のなまえ』(村山由佳)、みかん作りを通して少しずつ成長していく主人公を描いた、甘酸っぱい青春小説『みかん、好き？』(魚住直子)、『あん』(ドリアン助川)などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。➡ya@libnet.ehimetosyokan.jp  
\* 件名に「YAメールレファレンス」と入力してください。\* お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに。